

地域安全ニュース

池田地区防犯協会
池田警察署 572-0110
みんなでつくろう
安心の街

車上ねらい

- 【池田町】
- 6月1日夜から3日朝にかけて、池田町内の道路上で駐車していた無施錠の車の中からハンドバッグが盗まれた。
 - 6月16日夕方から17日朝にかけて、池田町内の農家敷地内で、倉庫に無施錠で駐車していた車の中から現金等が盗まれた。
- 【浦幌町】
- 7月1日昼頃、浦幌町内の空地に駐車していた無施錠の車の中から財布や腕時計が盗まれた。

自転車・オートバイ盗まれる

- 【池田町】
- 7月1日朝から夕方にかけて、池田町内のJR利別駅駐輪場から、施錠していた自転車が盗まれた。
 - 7月22日夜から23日朝にかけて、池田町内の住宅敷地内から無施錠の自転車が盗まれた。
- 【浦幌町】
- 7月21日夕方から22日昼頃にかけて、浦幌町内の一般住宅前から無施錠の自転車が盗まれた。
 - 7月26日夜から27日朝にかけて、浦幌町内の町営住宅自転車置き場からオートバイが盗まれた。



盗難事件相次ぐ！

- 【浦幌町】
- 6月3日朝から夕方にかけて、浦幌町内の総合スポーツセンター内で、バレーボール大会中に、置いていた荷物の中から現金が盗まれる被害が6件発生した。
 - 6月25日夜から26日朝にかけて、浦幌町内の工事現場で、駐車していた重機から軽油が抜き取られる被害が3件発生した。
 - 6月27日夜から28日早朝にかけて、浦幌町内の会社事務所で、窓ガラスを割って侵入され、現金が盗まれた。
 - 7月20日夕方から22日朝にかけて、浦幌町内の一般住宅物置内から釣り竿等が盗まれた。
※このほかにも、被害はありませんでしたが侵入事件が2件発生しています。
- 【池田町】
- 7月1日朝から2日夕方にかけて、池田町内の牧場敷地内に設置のD型ハウス内から、刈払機2台が盗まれた。
 - 7月24日夜、池田町内のパチンコ店内で、トイレに置き忘れた現金等が入った財布が盗まれた。

はるにれ

～みんなで築こう 安全で安心な大地～
http://www.ikedaya-police.pref.hokkaido.jp

池田警察署 572-0110
茂岩駐在所 574-2013
豊頃駐在所 574-2151
大津駐在所 575-2002

作成：岩瀬 宏

災害に備えて安心 我が家の防災

災害はいつ、どこで、どのように起こるかわかりません。
突然やってくる災害から身を守るためには、普段から災害に対する備えをしっかりと持つことが大切です。
そのためには・・・

- 家族が離ればなれになったときの集まる場所や連絡の方法
- 町が指定している避難場所、施設
- 災害時に持ち出す家の大切なものを家族全員で確認しておきましょう。



地震に対する心構え

- 家にいるときは・・・
- 使用中のガス器具、ストーブなどは素早く火を消しましょう。
 - 座布団などで頭を守り、丈夫な机やテーブルの下に隠れるなど、身の安全を守りましょう。
 - 玄関ドアや窓を開けるなどして出口を確保しましょう。
- 外出しているときは・・・
- 建物や塀、自動販売機などから素早く離れましょう。(冬は屋根からの落雪にも注意！)
 - スーパーなど人の多く集まる場所では、あわてず係員の指示に従いましょう。

風水害に対する心構え

- <事前の安全対策>
- 気象情報をよく確認しましょう。
 - あらかじめ避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- <緊急時に備えた対策>
- 屋外が危険だと思われるときは外出を避けましょう。
 - 非常持ち出し品の準備をしておきましょう。
 - 停電に備えて懐中電灯やラジオを準備しておきましょう。
- 災害が発生し、町長から避難の指示があった場合は、落ち着いて行動し、町職員や警察官の指示に従って避難しましょう。

9月11日は「警察相談の日」

～知っていますか？警察相談～
警察では、身の回りにおける出来事で生活の安全等に関する幅広い相談に応じています。
「#9110」は警察相談の専用ダイヤルです。
プッシュ回線、公衆電話、携帯電話、PHSで利用できますので、お気軽に相談してください。



豊頃中学校の塩原光貴君を団長に林谷美思さん、中村香澄さん、田頭菜緒さん、林萌香さん、工藤由佳教諭とともに姉妹都市サマーランドを訪問しました。



ミリーとホストファミリーの皆さんも笑顔で温かく迎えてくれました。

翌日は、午後からサマーランド市役所で歓迎式が行われ、子どもたち全員、非常に元気で、用意されたジュースを飲みクッキーを頬張る。そんな疲れを知らない様子を見て引率者は一安心。式では、子どもたちそれぞれが英語で自己紹介し、ペリーノ市長からは「英語が上手ですね」とお褒めの言葉をいただきました。式の後、再びホストファミリーと

平成24年度 サマーランド派遣交流事業 報告

8月6日～13日、豊頃中学校の2年生4名、3年生1名の計5名が、本町の姉妹都市であるカナダ国サマーランドを訪ねました。
※ ホームステイ5泊6日



中学生交流事業に同行して

【引率者】

豊頃町教育委員会 富田秀樹

8月6日、父母らに見送られてくる夢館を出発した一行は、帯広空港から羽田、成田を経由しバンクーバー、そしてケローナ空港へ。長時間の大移動、しかも16時間もの時差でしたが、ダリーオン姉妹都市協会長はじめ4人の方々から笑顔の出迎えを受け、長旅の疲れを忘れホッと胸を撫でおろしました。しかし、時刻は、すでに午後8時を過ぎていたので、すぐにそれぞれのホストファミリー宅を目指して一路サマーランドへ向かいます。一軒一軒子どもたちを送り届けると、それぞれのホストファミリーの皆さんも笑顔で温かく迎えてくれました。



もに帰って行った子どもたち。もう、すっかりなじんでいるように見えます。

ホストファミリーと過ごす子どもたちは、カナダならではの雄大な景色や、かつては人々や生産した果物などを運搬する手段として活躍したケトルバレー蒸気機関車、市内の高校や商店街を見学するなどカナダ・サマーランドの大自然や歴史、文化に触れ、多くのことを学べたことでした。

私たちが訪ねた時は、ちょうど隣町ペンテイクトンのピーチフェスティバルの開催時期で、イベント会場に行く地元では有名な歌手のショーや様々なアトラクションが行われており、集まった人たちは、拍手喝采の大盛り上がりでした。ここで、豊頃の子どもたちがホストファミリーの方たちと楽しそうに言葉を交わしている姿を発見、ファミリーの一員になっていました。

5日目の夕方に「さよならパーティー」を開いていただきました。久しぶりに豊頃の子どもたち全員が揃い、出発前に練習してきたヨサコイをサマーランドの皆さんへのお礼

の気持ちを込めて披露したところ、とても喜んでいただきました。また、ボリユーム満点の料理とカナダと日本の国旗を描いたケーキなど、おなかいっぱい御馳走になり、最後にはカナダのアイスホッケーチームの選手サインが入ったユニフォームなどたくさんプレゼントをいただき、残り少ないサマーランドでのひと時を惜しむように過ごしました。

最終日、いよいよサマーランドの皆さんとお別れする朝。市役所に集まりホストファミリーの皆さんと言葉や手紙を交換し、抱き合う子どもたちの姿に、この6日間は貴重な体験ができた、素晴らしい思い出になったと確信しました。そして、お世話になった皆さんといつか再会できることを願って帰路に着き、8月13日、家族の待つ豊頃に無事帰ってきました。

サマーランド滞在中は、30度を超える暑い日が続きましたが、子どもたちは体調を崩すこともなく、英語と身振り手振りでホストファミリーをはじめ、サマーランドの方々ともコミュニケーションをとり、それぞれが出発前に立てた目標達成と豊頃町の代表という重責を立派にやり遂げました。皆さん、お疲れさまでした。

